

多 づ くり

題字
相田コマ
初代女性部長

女性部だより

調布市商工会女性部

〒182-0026
調布市小島町 2-36-21
TEL:042-485-2214

ひとつになり

仲良く・楽しく活動を！

女性部長 根岸 玲子



一日でした。本当にご協力ありがとうございました。

そして九月二十九日(金) 調布駅から、人や暮らしを結びたいという想いから「街を結ぶ」「人を結ぶ」「みどりを結ぶ」新スポット『トリエ京王調布』が誕生！調布が大きく変わりました。

駅を降り地上へ出ると、「ここが調布？」人も多いし、素晴らしい街に变身！

まだまだ、変わりますよ調布は：：二〇一九年味スタでラグビーワールドカップ。

二〇二〇年オリンピック・パラリンピック。

広場は完成するでしょう！外国からもお客様が沢山みえる。私達も「おもてなし」準備をしなければ：：

十月八日(日)、九日(月・祝) 私

達の商工まつりです。

八日(日)：献血運動協力。テントは、女性部名物「ふみ焼」、ウインナー焼、みそおでん(手作りみそは、女性部ならではのみそで好評)、アイスコーヒー販売。

九日(月・祝)：女性部恒例のチャリティバザー、勿論テント活動も。チャリティバザーの商品も集りにくい今日この頃、皆さんの声がけで沢山の商品が集まりました。盛りだくさんの商工まつりも大成功でした。

バザーの売上金も松村地域振興委員長と共に調布市社会福祉事業基金として、長友調布市長に届けけることができました。皆さま二日間本当に「おつかれさま」でした。

ご協力ありがとうございました。

十月十九日(木)、二十日(金)商工会女性部全国大会が、清流の国、岐阜県下呂温泉で開催。

広瀬都女性連会長に「調布さん、会長・局長をお願いしバスで来て下さい」と言われ、これは大変、バスを用意しなければ：：二十名位参加をお願い

なければ：：。柳澤会長と安立局長には参加を快諾、又、福谷副会長・渡部建設業部会長にも参加をいただき事務局横田課長含む二十三名となりました。ありがとうございました。参加された部員の皆様も全国の素晴らしい活動発表に刺激を受け新たな力をいただきましたと思います。

他にも、社協の事務協力、多摩川クリーン作戦等、忙しいなかお手伝いありがとうございました。

私が、二期六年に渡り部長という重責を担わせていただき、期間内に東京で全国大会(二〇一五年 NHKホール)、関東ブロック大会(二〇一七年 昭島市)を経験させていただいた事、無事に事業を進められた事すべてに皆様のお力添えなくして出来なかったと思います。

これからの調布の「まちの活性化」に、私たち女性部の力を発揮してほしいと思います。

私たち女性部がひとつになって活動していったらという願い！

女性部が大きな輪を作り、仲良く！楽しく！活動していきたいと思えます。

大きな絆を結べた事を信じ、これからの女性部の活動を一緒に頑張りましょう！本当にご協力ありがとうございました。

関東ブロック商工会 女性部交流研修会（東京大会）

七月四日（火）東京都昭島市昭和の森、「フオレスト・イン昭和館」にて関東ブロック交流研修会が開催されました。

今年では東京都として、「おもてなし」をする番です。この日の為に購入したユニフォームは、ショッキングピンクのポロシャツと白いストラックスです。横田課長、根岸部長以下、十名は、シルバンホールの出入り口で、さあ！お出迎えます。「いらっしやいませ！」「ようこそお越しくださいました！」と、調布市商工会女性部はとても元気が良いです。さて、千二百人以上の人数がシルバンホールに集まり、開会式が始まり、セレモニー終了後は、本日メインの主張大会が開始されました。

茨城県代表は、シルバー体操やウォーキング、ストレッチをして、女性部会員の意識を変え、胃腸が弱かった人の改善、血液年齢などを大幅に下げました。

新潟県代表は、小出踊りを再開、四十年ぶりの復活が話題を呼び、絆を深めました。

千葉県代表は、大学の学生食堂から依頼があり、商工会より事業を立ち上

げ、鴨川のお母さんとなって、地域の雇用を作り、また、学生と地域をつなぐ場を作りました。

神奈川県代表は、海の幸、ご当地グルメを考え、煮魚サバのフィッシュバーガーを、商工会祭りなどに出品、大好評となり、町おこしに貢献しました。

静岡県代表は、世界遺産韮山反射炉見学と一緒に、お茶積み体験やいちご狩りなど「おもてなし」を考え、町づくりに取り組みました。

東京都代表、三鷹商工会は、井之頭公園で行った、商工会祭りのチャリティーバザーで、創意工夫をし、女性たちに活力を与えました。

群馬県代表は、視察研修旅行などで、道の駅などを回り、大勢の女性部員と知り合い、みんなで笑顔をつなぐことに尽力しました。

山梨県代表は、農作物を生かして、「おふくろの味、割干し大根」が、道の駅やデパ地下物産展などで売られるようになりました。

長野県代表は、小学生と一緒に、手作りプリンをカボチャの種まきから取り組み、商工会祭りで売り、子供たちとのふれあいを続けています。

栃木県代表は、足尾祭りで神輿を担いだり、ものづくり教室やつくだに販売など、町づくりに貢献しました。埼玉県代表は、フラワーアレンジメ

ント教室やB級グルメ決定戦に参加、フラワーロードやバラ園まで取り組んでいます。

それぞれ、素晴らしい主張発表でしたが、最優秀賞は、千葉県代表、鴨川市商工会、浅沼紀子さんでした。

ウエルカムレセプションとして、警視庁音楽隊の迫力あるオーケストラを聞き、基調講演はフジテレビアナウンサーの笠井氏の講演でした。東日本大震災で被災した事業者がいかに大変だったかということ、大地震に対して、危機管理能力をもつことと、事前準備の大切さを語っていらっしやいました。その後は、情報交換会に参加し、美味しいお料理をいただきながら、東京都連合会からは、江戸芸・かっぱれ、

各商工会連合会からダンスや踊り、今、再ブレイクしている「ダンシングヒーロー」などを見て楽しみました。

それからは、最後のお見送りです。「どうもありがとうございました！」と、笑顔で、手を振って、皆で声かけをしました。

今日の交流研修会では、明るく、元気よく、をモットーとしている商工会も多く、地域独自の取り組みを発表しており、地域の活性化の為、町づくりの為、一生懸命努めていることに、とてもパワーをいただき、私も明日から地域の活性化に、少しでも貢献出来ればと思いました。

北川 由紀子



第三十二回 通常部員総会

日 時

平成二十九年四月二十六日（水）

午後 六時

会 場 商工会館三階研修室

部員総数 百四十二名

出席者 本人 二十八名

委任状 五十八名

計 八十六名

来 賓 六名

議 案

第一号議案

平成二十八年年度事業報告並びに

収支決算報告承認について

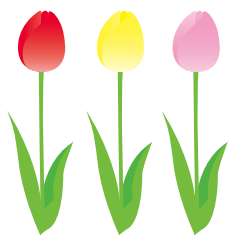
第二号議案

平成二十九年年度事業計画並びに

収支予算決定について

以上の議案が上程され、各議案とも満場一致にて可決されました。

なお、総会終了後「レストランスリジェ」にて懇親会が行われ、和気あいあいと部員同士の懇親を深めました。



健康講習会

本年度の女性部研修会は、私たちに一番必要な健康寿命についての知識を身につけ手軽にできる筋力トレーニングを学ぶ講習会が企画されました。

九月九日（土）商工会館にて講師に公益社団法人日本パワーリフティング協会の、生涯健康指導士猪原誠也氏をお迎えしました。

先般、女性部では女性部長が体調を崩し入院生活を余儀なくされ、退院したものの筋力の衰えからなかなか思うように動くことができませんでした。そんなとき知人から勧められた筋力トレーニングを続けたところ今では走る様にまでなり驚くほど回復したということがありました。

講師のお話でも大切なのはバランス能力と持久力とのこと。私たちの身体は二十才をピークに下り坂となりまします。そして高齢になると転倒事故が多くなりそれはバランス能力が低下するからで、維持するためには何より筋力トレーニングが必要。無理のない筋トレによって健康が自然に身につけていきます。

最初の段階では椅子に座ったり立ったりをゆっくり繰り返し。『スクワット』をすることで大事な足に筋肉がついてきます。椅子に座って『貧乏ゆす

り』をするのも大変よい筋トレこれからテレビを見ながらでも出来ます。その他『タオルを利用した運動』等々の健康寿命が維持できる介護予防の体操を教えていただきました。

健康寿命の維持は、医療費の削減にもつながり市の財政にも大きくプラスになるはず。そのためにも皆が気軽にいつでも健康体操や筋トレができる場所を市内のあちらこちらに設けていただけたらとの思いで女性部の要望として市長にお願いに行きました。いつでも元気で明るく楽しい女性部でいたいので、ぜひ実現していただきたいと願っています。

その後猪原氏を囲んで懇親会が行われました。大変盛り上がり心と体には有意義な一日となりました。皆さま御協力ありがとうございました。

松村 徳子



部員増強運動

女性部にとって部員数が減少することは組織の活力を失い、今後の発展に大きなマイナスとなります。平成十年度の二百三十六名をピークに廃業等による減少により昨年度末の部員数は百四十二名となっております。今後の女性部活動発展のため次代を担う部員を広く募集し、女性部の輪を広げていくことを目的に九月十月の二ヶ月間、各委員会で三名づつの九名と、正部長で一名の計十名とし部員増強運動に取り組みました。

期間中での入部受付実績は、三名でしたが、この取り組みにより本年度八名の新入部員を獲得することができました。女性部の加入は随時受付をしておりますので、是非ご紹介いただき組織の活性化にご協力ください。連絡は事務局または地域振興委員まで。

女性部の主な活動内容

- (1) 研修活動に関する事
- (2) 広報及び意見活動に関する事
- (3) 地域活動に関する事
- (4) 生活改善活動に関する事
- (5) 社会一般の福祉の増進に関する事
- (6) その他、商工会の目的を達成するために必要な事業を行うこと

商工まつり びっくり市

十月八日(日)・九日(月・祝)の二日間、商工まつり「びっくり市」に出店しました。

販売品目は女性部名物「ふみ焼き」、飲み物。どれも「味に自信あり、部長秘伝のみそ田楽、高級ウインナーソーセージ、コーヒードリンク、飲み物。どれも「味に自信あり」の品々です。絶好のおまつり日和、私は都合で二日目のみでしたが「ふみ焼き」焼き手として気持ちよく参加することが出来ました。

出店も回を重ね、各役割ごとに堂に入った風情で、チームワークも素晴らしく二日間とも完売でした。

今年心がけたことは、焼き立てを販売することでした。焼き手は三人、ベテランです。お客様の流れを見て三枚今回は五枚焼くといった風に調整しながらライブ感を大切にしました。生地にこもり乗せた千切りキャベツ、紅しょうが、青のり、卵の白、黄色、焼けたソースの香りと鉄板の様子もお客様にアピール出来たと思います。

又、パッケージの手際よさ、売り手の対応もさすがと思わせるものがありました。残りわずかになった時、「最後なら負けて!!」という女性に「ごめんなさい、まけられないのよ自信があ

るから。」と穏やかに対応している姿に「なるほど」と感心させられました。今回、初めての試みとして「ヘアレールギーを気にされる方へ」として「ふみ焼き」材料の表示をしました。これは、昨年の経験から事務局の横田課長に相談したところ、前日にもかかわらずきれいな掲示物を作ってくださいとおかげです。

当日、小学生のお子様を連れられたお母様が表示を見て「これなら大丈夫!」と、安心した顔で買ってくださいました。お互い「ニコッ」です。

いよいよ完売。拍手と共に充実した気持ちになりました。毎回、いろいろな経験をさせて頂きます。来年もリピーターの方がたくさん来てくれますようにと願います。

石井 恭子



商工まつり 「チャリティーバザー」

十月九日(月・祝)午前十時より商工まつり特設ステージ前にてチャリティーバザーを開催しました。

多くのテーブルの上にもぎとに並べられた商品の数々、「いらつしやいませ!」「チャリティーバザーこちらです。」歯切れの良いマイクでの呼び込み作戦!大勢のお客様がテーブルの商品に注目しました。私達スタッフは「如何ですか?これですか?」「すばやく商品を取り上げ、お客様に伺いながら商品の代金を頂き、ビニール袋に入れながらお礼を申し上げ、すかさず目の前にあった折りたたみ傘と長い雨傘を持ち上げ、傘は如何ですか?大きな声で必死にアピールし始めました。「商品を持って移動しないで下さい。その場で清算下さい。」と女性の声でやさしく嫌みがなかったせいか、商品売上がスムーズに展開していったように感じております。

お蔭様で傘は全部売れ切れました。しかし、私の担当場所で、売れそうで売れない鉄瓶がありました。「この鉄瓶、新品でないよね。みがいならチョツトきれいになるかなあ?鉄瓶が好きなんだよ!」持ち上げながら話しかける男性。鉄瓶ファンは五人でした。しかし、売れ残ってしまいました。鉄瓶君

ごめんなさい。女性部バザーは、商工まつり恒例のイベントです。売上金は調布市社会福祉事業基金に寄付させて頂いております。このたびの寄付額は六四、五六六円だったそうです。バザーにお越し頂いたお客様に感謝!感謝!です。バザーのスタッフとして初参加でしたが、とても楽しく元気を頂きました。又、バザーに足を運んで頂いたお客様、男女共々、参加マナーがよろしく、良き思い出が又一つ増え感謝しております。ありがとうございました。

田中 千恵子



献血運動協力

十月八日（日）商工まつり期間中の献血運動協力は、このたびで二回目となりました。

当日は晴天に恵まれ人出も多く商工まつりの会場向かう方や街行く方へ献血の呼びかけをしました。

献血は、輸血で使用される以外にガンや白血病などの病気の治療に使われていること、希望者には、献血後に血液検査の通知がある事など説明すると、家族を助けてもらったので協力している、自分は協力できないけれど友達を誘ってくるなど心温まる言葉をいただきました。

一番印象に残っているのは、人生初の献血をされた十八歳の方！

この献血で助かる命があるんですね！嬉しいです。これからも続けたいと思います！

この言葉を聞いて献血運動協力の活動ができる喜びを味わうことができました。

献血運動に協力をする中で、飲んでいるお薬があっても献血できる場合もあること、一日三、〇〇〇人もの方が輸血を必要としていること、献血の協力が減少していて、この十年間で特に十代から三十代の方が三〇%減になっていることを知りました。

献血運動結果報告

内訳	受付者数	献血者数	不採血者数
	45名	30名	15名

	200 ml	400 ml	計
A型	0名	9名	9名
O型	0名	9名	9名
B型	4名	6名	10名
AB型	0名	2名	2名
合計	4名	26名	30名

四〇分で助かる命がある献血というボランティア活動を今後も協力と呼びかけていきたいと思えます。ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

ありがとうございます。

白井久美



多摩川クリーン作戦

十一月十二日（日）に毎年恒例の秋の多摩川クリーン作戦が開催されました。

年二回、春と秋に開催され今年の春は天候により中止となりましたが、第七十五回目の開催となる秋は晴天に恵まれました。

調布市商工会女性部は以前からの活動に参加させて頂いております。年々参加者が増加する多摩川の清掃活



秋のクリーン作戦結果

全体参加数	1,122名
参加団体数	42団体
ごみ収集量	
可燃ごみ	630キ口
不燃ごみ	500キ口
粗大ごみ	750キ口
ビン・缶等	4,133本

動は一大イベント！
総勢一、一二人（四十二団体・自治会や商店会、事業所や個人の方）が参加されています。

南に富士山を眺めながら多摩川の清々しい風を受けながらの清掃活動は、自然を肌で感じることの出来る活動です。早朝八時から注意事項確認し一人一人がビニール袋二枚（燃える・燃えない）とゴミを拾う長バサミを持ち、緑地内を上流と下流方向に約一時間活動を行います。持ちかえったゴミは、所定の場所に集められます。今年のゴミで多かったのは、粗大ゴミとペットボトルでした。

住み良い美しい街、調布でありますよう今後も女性部活動を通じて地域振興・資質の向上・会員親睦を図って行こうと感じた「秋の多摩川クリーン作戦」でした。

林 清子

商工会女性部全国大会

十月十九日（木）早朝、第十九回商工会女性部全国大会に出席するべく大雨の中出発しました。

めざすは清流の国、岐阜。大会会場は下呂交流会館。宿泊は下呂温泉と聞いて期待も高まる中の出発でした。

途中立ち寄った昼食の会場には全国の女性部長が大集合。沖縄の女性部女性部員は皆、おそろいのステキなかりゆしのジャケットを着用していました。全国大会ならではの出会いでした。



暖かい歓迎を受け会場に到着。ホッとする間もなくさっそくセレモニーが始まりました。

楽しみにしていたのは主張発表大会です。各ブロック代表の六名がそれぞれのテーマに沿って発表を行いました。さすが全国大会だけあってどれも完成度が高く、内容も洗練されていて引き込まれるように聞き入っていました。

中部ブロック代表 愛知県 岩倉市商工会 山岬（やまぎし）さんは地域活性化にむけての取り組みを発表。女性部としての経験を活かし「女性のための創業カフェ」を開催し、参加者の二名が市内で創業したとの事でした。カフェには商工会の方にも参加していただき、次につながる環境を整えたことがよかった。若い創業意欲のある女性の話を聞くことで自分たちにもいい刺激になったことを生き生きとお話しました。

九州ブロック代表 沖縄県 石垣市商工会 浦内さんは資生堂にサポートを受けてご当地フレグランスを開発したお話でした。コンセプト、ターゲット、パッケージすべてを自分たちで開発しなくてはならず何度も議論を繰り返しながら煮詰まってしまうこと。そんなとき、夏の満月の夜に白い花を咲かせる「夜香木」を思い出し、子供のころから親しんでいたこの香りを使

うと思いついたことなど、とてもすてきなお話でした。

どれも思いのこもったすばらしい発表でした。

また、どのお話も地域への思いがあふれ、女性ならではの視点や感性が活かされていました。

基調講演は 文字職人 杉浦誠司さんのパフォーマンスとお話でした。ひらがなの「ありがとう」を使って



漢字の「夢」を書くというものでした。初めて拝見しましたが、たて二m、横三mの紙に大きな筆で描いてゆく迫力あるものでした。「ありがとう」がどうやって「夢」になっていくのか、とても見ごたえがありました。

夜は下呂温泉のお湯にたつぷり浸かり、宴会も大変盛り上がりました。翌日は合掌村へ。その後は飛騨高山へ向かいました。古い街並みを散策し、飛騨牛の串焼き、飛騨牛コロッケ、メンチカツ、ソフトクリームと思いつくことのない散策になりました！
体重は若干増えましたが、女性部の絆も深まり笑い声の絶えない二日間でした。

鈴木 あゆみ

女性部全国大会概要

1. 名称
第19回商工会女性部全国大会 in 清流の国ぎふ
2. 期日
平成29年10月19日（木）20日（金）
3. 会場会場
下呂交流会館（岐阜県下呂市）
4. スローガン
「～ありがとう 輝く笑顔で おもてなし
清流の国 ぎふ！その出会いが未来へ～」
5. 主催
全国商工会女性部連合会
岐阜県商工会女性部連合会
6. 後援
中小企業庁、岐阜県、下呂市、全国商工会連合会、
岐阜県商工会連合会
7. 参加者数
商工会女性部リーダー等 2,303名
8. 開催内容
 - (1) 大会
 - 第1部 大会セレモニー
 - 第2部 主張発表大会
 - 第3部 基調講演
 - 第4部 主張発表表彰
 - (2) 交流会
 - (3) エクスカーション

新年研修会・懇親会

平成三十年二月六日（火）調布市商工会女性部新年研修会、新年懇親会がクレストンホテルで開催されました。

研修会は、「世界の国旗・国歌を学ぼう！聴こう！」をテーマに 講師は、ソプラノ歌手 新藤昌子氏、世界の国旗研究協会会長 吹浦忠正氏をお迎えしました。

二〇二〇年の東京オリンピック・パラリンピックを前に、この学びの会に参加できたことに大変喜びを感じました。

国旗のお話しは、大変興味があり、面白さと同時に身近なお話も取り入れて解りやすく説明してください楽しかったです。その後、新藤昌子さんが素晴らしい声で歌われました。オリンピックが楽しくなりそうです。そして私もあんな美しい声が出せたらと：「うらやましい」と思いました。

そして懇親会に移り長友市長、柳澤会長、瀧柳副会長、福谷副会長、調布市生活文化スポーツ部 田波部長、新藤昌子様、吹浦忠正様、鳩山青年部長、安立局長 沢山のご来賓の方々をお迎えし懇親会が開会されました。

司会の石井さんの合図で「誓いの言葉」『商工会女性部の歌』を熱唱、そして女性部長の挨拶。

二〇一九年にラグビーワールドカップ、二〇二〇年にオリンピック・パラリンピックが来ます。外国からのお客様も沢山見える中、調布駅前広場が完成してないのでと心配です。早く完成を…。

そして、調布駅周辺だけが賑やかでなく、仙川〜飛田給迄商店街を活性化させるようよろしくお願いします。女性部の底力を忘れないで下さい！おもてなしは、女性部にまかせて下さい。」と力強い挨拶がすごく、うれしかったです。

私が、この会に積極的に出席するのは女性部の人達に逢える楽しさ、そしてクレストンホテルのおいしい食事、なごやかな会話が好きで出席するのですが、今回は記事を頼まれ緊張しました。でも、楽しかったです。

押井 トシ子



共同募金事務協力 歳末助けあい運動事務協力

九月四日（月）、商工会女性部十六名は、一時から共同募金事務協力として共同募金に必要な配布資料の準備作業を手伝いました。手慣れている女性部は、ベテランといえる位スムーズに作業が進みました。袋の束を数える係、種類別にそれぞれ自分の机で間違いのないよう枚数をかぞえる係、皆心得て真剣に数えました。配布する為の手提げ袋に番号を書く担当者も慣れた様子で手際が良く順調に進んでおりました。出席者が多く途中休憩を入ながらも早目に終わりました。

十月二十七日（金）女性部十二名は一時から、歳末助けあい運動の配布資料の準備をしました。福祉のお役に立てると部員もいつも喜んでお手伝いをさせて頂いておりますが本場に女性部はまとまりが良いと思えます。少しでも多く募金が集まる事を願いながら無事に終わりました。

厚沢 得恵



調布探訪 第二十一弾 調布ゆうあい福祉公社

今年度の調布探訪は、国領駅から徒歩五分、第六中学校の南側という好立地にある「公益財団法人調布ゆうあい福祉公社」さんを訪問させて頂きました。

十二月一日（金）集合時間の九時四十五分、朝方から降っていた雨も止み、部員十二名と横田課長が国領駅に集まりました。

まず、二階で「ゆうあい福祉公社」さんの事業についての説明を受けました。

「住民参加型事業」は、六十五歳以



上の方や障害のある方、病氣療養中の方やひとり親家庭の方、そして産前産後の方々を「利用会員」、心身ともに健康な十八才以上の方で、社会福祉や地域福祉に関心があり、熱意をもってサービスを提供できる方を「協力会員」、また金品援助をして下さる方を「賛助会員」、とする会員制度によって在宅福祉サービスを提供する事業です。

主なサービスは、掃除・調理・庭の手入れ・通院同行・子育て支援等を一時間八〇〇円の利用料で行う「ホームヘルプサービス」と一食七五〇円で協力会員が作ったまごころのこもった食事の配達・様子確認を行う「食事サービス」です。

また、「ちよこつとさん」は登録ボランティアの方にお手伝いして頂き、一回三〇〇円で、電球のとりかえ、高いところの荷物の上げ下ろし、時計の電池交換等の一回三〇分程度の作業をサービス提供しています。

職員さんと協力会員さんが、寸劇を通してサービス利用の方法やご自宅での利用の様子を説明して下さいました。

その他、居宅介護支援事業・介護予防支援事業・訪問介護事業・地域包括支援センターゆうあい、についてお話しをお聞きした後、一階の国領高齢者サービスセンターを見学させて頂きま

した。

デイサービスの説明を受け、厨房や実際に利用者さんが介護予防体操をしておられる様子を見学したのち、二階に戻り、食事サービスで提供されているお弁当の試食をしました。丁寧にとつただしを使って調理された、本当に真心のこもった美味しい、優しい味のお弁当でした。

当日は、理事長さんをはじめ職員の皆様、協力会員さんに歓迎していただき感謝の気持ちで一杯です。後日、「ゆうあい」さんの「だれでもカフェ国領」に参加させて頂き、地域の高齢の方々がご利用している様子に触れ、元気なときから利用できる楽しい場所であり、そして思っていたよりもさまざまな支援が受けられる場所であると実感しました。



編集後記

一年間の行事に沿って女性部から原稿をいただき、ここにたづくり三十三号を無事発行することが出来ました。

部員の皆様大変ありがとうございました。

これからもよろしくお願いいたします。
広報部一同

